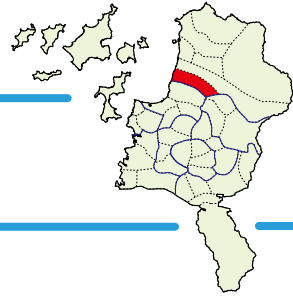


あわ い 栗井地区

人口:6,838人(高齢化率36.4%)
世帯数:3,102世帯

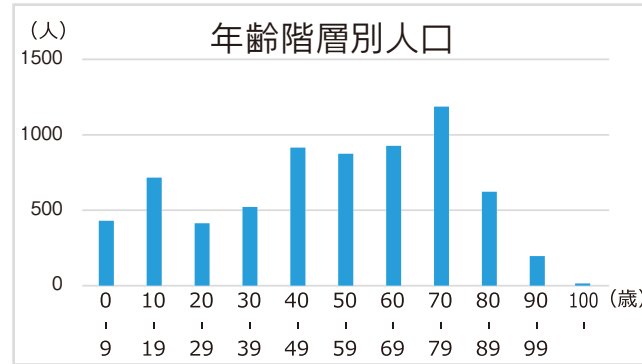


【地区の特色】

栗井地区は、農村地域と団地新興住宅地域の存在する地区であり、主に東部南部を中心に農業が営まれており、新興地域は市内への通勤者が多くを占めている。地区内には23地区の集会所があり、互いの連帯が図られた活動を通し地域づくりを推進している。



桜の山(宅並山)から眺める栗井



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	地域が抱える福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援が充実 ・各種団体と地域の連携がうまくできている 登下校の見守りがある(ボランティア) ・児童クラブと放課後子ども教室がある ふれあいマーケット&スマイルタウン(子ども主体のお店屋さん) グランドゴルフが盛ん ・ふれあい・いきいきサロン、地域交流サロンの活動が活発 地域のボランティアで宅並山の管理をしている ・小中学生が挨拶をよくする 公民館でのサークル活動や地区行事などの活動が盛ん ・災害が少ない 障がい者の働く場所がある(かなさんどう) ・自然(山、海)が豊かで静かな地域 	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時、避難時の人手に不安あり 避難所が遠い 新しい役員のなり手がいない 地域活動に新しい若年層の参加が少ない 自家用車がないと生活しにくい 近くにスーパーやコンビニがない所が多い 空き家が増加している 	<ul style="list-style-type: none"> 山間部の高齢者世帯の増加 ゴミ出しや買物など、生活課題を抱えた世帯が増えている コロナ禍の自粛で、認知症の症状がある人が増加 高齢化により農業をやめる人が増え、荒れ地が増えている 山間部では、土砂崩れなど災害時不安 地域行事等の参加者が固定化しているため、地域の絆が希薄になっている コロナ禍で中止になった行事等が元に戻るか不安

栗井地区社会福祉協議会

やすらぎと 愛の泉の 栗井郷

構成団体	地区民協・自治会・健全育成推進協議会・PTA・日赤奉仕団・自主防災連合会 小学校・中学校・公民館・愛護班連絡協議会・高齢クラブ・児童クラブ ふれあいクラブ・消防分団・ボランティア団体
------	---

主な取り組み	活動内容
男性料理教室	地区内の男性を対象に講師の指導で料理を作り、一緒に食事をしながら交流を図っています。
いきいき健康教室	毎年、地域の人を対象に健康や福祉に関する身近な問題を取り上げ、講演会等を開催しています。
自主活動グループ	囲碁将棋交流会やマージャン愛好会など、同じ趣味を持つ人が集い、楽しみながら交流を図っています。

卒業生との鯛めしづくりの会

毎年、栗井小学校6年生の児童と地域の人と一緒に卒業祝い
の鯛めしづくりをしています。鯛めしは北条の郷土料理で身近
な料理ですが、「自分達で作ると時間もかかり、火加減が難し
い。家で手伝いたい。」などと家族や地域の人に感謝をしながら
調理を通して交流を図っています。



<地区社協が目指すもの>

少子高齢化・核家族化が進み、高齢者だけの世帯や身近に親族のいない世帯が増加してきている
中、栗井地区社協では実施事業の一つ一つはたとえささやかであったとしても、次のような願いを精
一杯込めて活動したいと考えています。

- ①諸事業を通じて人と人の出逢いを増やし、人と人の繋がりの輪が広がってほしいです。
- ②全ての人が住み慣れたこの栗井地区で最期まで健康に幸せに過ごしてほしいです。

地区の状況	■地区民協		■町内会・自治会・区長会等	
	民生委員	11名	■高齢クラブ	22団体
主任児童委員	2名	■子ども会	1クラブ	
■まち協の設立	—	■自主防災組織	0団体	
			21組織	

山や海など豊かな自然を生かした新たな住宅団地が増えるとともに、子育て世代の住
民が増加傾向にあります。その一方で、山間部の高齢者世帯が増加し空き家や休耕地が
増えている課題を抱えています。しかしながら「卒業生との鯛めしづくりの会」や「男性料
理教室」などは、食を通じた参加者同士の交流の活性化を目指すだけでなく、郷土料理を
用いることで、地域の文化・風習を体感する経験を参加者で共有し親睦を深めています。
また「いきいき健康教室」の開催は、特に独居高齢者らが参加することで社会的な繋がり
をもち、精神的健康、身体的健康、健康習慣の獲得にもつながり健康寿命の伸長にも反映
されることでしょう。



